

令和2年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム花みずき		施設番号	K397
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和2年度)	改善計画 (令和2年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和3年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和3年4月30日時点)
について	事業所では、単年度の事業計画の策定を基本として対策を講じています。1年ごとに振り返りを行い、次年度の計画へと繋げています。しかしながら、昨今の大規模災害や、感染症などの様々な経営に影響を与える経験したことのないリスクが直面しています。安定的な運営を継続していくためにも、3～5年という、ある程度長いスパンで中・長期の計画を策定していく必要があります。また、災害も同様に事業継続計画を策定することによって、大規模災害時に利用者だけでなく、働く職員や地域の防災拠点として機能するために、作成することを期待されています。	少しずつ運営は安定してきたが、中・長期計画は継続して検討していく。災害対策等のBCP策定を実施。	1 実施済み 2 実施予定 (令和4年2月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 中・長期的な運営計画とBCP策定。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
について	今年度はほぼすべての会議が中止となり、資料を回覧する形で職員に伝達されています。今後も感染症の状況によっては情報共有の在り方を検討せざるを得ません。特に外部とのやり取りに関しては現在は個別のメールアドレスを取得し、個々のパソコンに設定しておこなっています。しかしながら、退職や異動に伴い、外部との情報共有が希薄とならないよう、施設として一元管理をしていきたいと考えています。情報のやり取りを全て共有することで透明性の確保とともに、外部との繋がりも途切れることなく継続できる体制作りを模索しています。	お問合せ用のメールアドレスの設定とご家族への周知を行う。	① 実施済み 2 実施予定 (令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 メールアドレスの設定と周知を行い、運用を開始している。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
について	サービスの手引書は各職種でファイルにし活用しています。手引書の見直しは職員が都度行い、必要な所を変更し改善しています。必要な改善を都度行う事で、迅速に対応出来ているとも言えますが、組織としての決定と情報共有が必要です。判断基準と根拠を示し、必要なサービス内容を明示して、統一したマニュアルの整備を求めます。業務の標準化を目指し、期間を定めた見直しと改善への取組と、業務点検の手段として活用できるように手引書を総合的に整備し、事業所全体のサービス提供内容を見直し、改善につなげる取組みを期待します。	リーダー体制を安定させ、マニュアルの統一をはかる。	1 実施済み 2 実施予定 (令和4年2月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 リーダー体制を安定させ、マニュアルの統一をはかる。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「令和2年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。

令和元年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム花みずき		施設番号	K397
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元年度)	改善計画 (令和元年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和2年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和3年4月30日時点)
について	相談員、介護支援専門員、機能訓練指導員、管理栄養士、看護師、介護士が、すべての入居者一人ひとりのその人らしい生活を営めるように支援しています。入居者の有する能力やその生活は多様性ゆえに、常に適正な支援を意識して行うことで、入居者の生活機能の維持向上につながり各専門職がお互いの地位を守ることができます。ただ、職員不足が職員の士気の低下を招いていることも事実です。そこで、今後は専門職集団として社会性を保ち、入居者はもちろん、職員集団も笑顔で仕事をしていけるように職員間の意思疎通を深めていくことを課題としています。	グループ内の他法人との連携を目指し、人事交流を実施し、適正な運営が行えるよう進めていきます。	1 実施済み 2 実施予定 (令和3年2月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 当法人内、特別養護老人ホームショートステイ事業を継続し、安定運営できるように進めていく。	1 実施済み (令和3年2月) 具体的には以下のとおりです。 グループ内の他法人との人事交換は、新型コロナウイルスの影響等もあり実施できず。しかし、他法人の採用募集協力にて職員採用は出来たが、退職もあり改善は出来ていない。
について	専門職は人員不足により調整に追われている現状があります。定期化しているはずの会議の開催が確実に実施できない為に、各ユニットに出向いて情報を伝達しています。利用者の状況変化に応じて、必要な情報を途切れないようにユニットに伝える必要があります。重要な伝達事項が、しっかりと必要な場所と支援者である職員に伝わっているかを記録に残すことが求められます。相互に確認し合える会議の意義を確認し、全職員の共通理解を得た実施が求められます。職務内容及び分担を明確化する事が、利用者の安全を確保し職員を守ることに繋がります。	ユニットリーダーの交代や職員の退職があったが、施設長補佐やユニットリーダーを再度配置をすすめ、マニュアル等の整備につなげます。	1 実施済み 2 実施予定 (令和3年2月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 資格取得や、リーダー配置をすすめ、マニュアルの整備につなげる。	1 実施済み (令和3年2月) 具体的には以下のとおりです。 配置されていたユニットリーダーを含め職員の人事異動にて施設全体の職員配置バランスを整えた。
について	前年度利用終了者23人、そのうち医療機関への入院が22名であり、一昨年度8名に比べ3割弱の増加となっています。施設は利用者の高齢化に伴い、関係医療機関との連携強化のうえ、所属医師の増員、看護師の増員を行っている。見取りについては検討段階ではありますが、利用者アンケートでも見取りを求める意見が見られる。利用者が最後まで安心して暗れる場所になるように見取りへの運営方針を示したうえで、段階的に終末期研修やマニュアル作りなど、家族との連携も含め自然なかたちで看取りを受け入れていける体制の準備が望まれている。	医療体制は昨年と同様、花みずき診療所の管理者、配置医設定や、診療の人員・回数の増加へ向け必要な関連法令の確認、手続き、準備、依頼ができる医師との交渉、アプローチの強化をすすめる。	1 実施済み 2 実施予定 (令和3年2月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 昨年同様になるが、実際には今年度内での実勢は現実的ではないが、3～5年という複数年単位で体制作りの準備をしていく。	1 実施済み (令和3年2月) 具体的には以下のとおりです。 配置医等の異動があり、医師が少なくなりましたが、今までの診療回数と内容の維持が出来ている。

※この様式は、「令和2年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。